



増戸小だより

Tel 042-596-0240

Fax 042-595-1022

あきる野市立
増戸小学校
No. 2
令和8年4月30日

English Room から世界に羽ばたこう

～増戸小学校に、外国語を学ぶ新専科教室ができました～

校長 時計 祐司

1年生が2学級になり、2階に空き教室ができたことを利用して、今年度より外国語の学習を行う「English Room」を設置しました。本校の外国語専科教員が、3・4年の外国語活動と、5・6年生の外国語の授業を行います。よく1年生教室の後ろには平仮名や片仮名のお手本が掲示されますが、「English Room」ではアルファベットが掲示されていました。



▲子供たちの笑い声は、世界共通語
令和8年4月14日 撮影

通常の教室で学んでいた外国語の授業とはまた違う雰囲気です。学習を楽しむ姿が子供たちから見られました。特に、初めて「English Room」に入る児童は、「おおっ。」「これが噂の。」と、ドキドキわくわくの笑顔を見ることができました。

さて、小学校の外国語教育が必修化、教科化された導入当時には、「小学生から英語が嫌いになる子供たちが増えるのではないか」ということが危ぶまれていました。導入以前の中学生に「何の教科が好きか」というアンケートを取ると、中学1年生にとっては英語が人気の教科であることが分かります。しかし、中学2年、3年……と年を経ると、少しずつ英語人気は衰えるばかりか、むしろ不人気の教科になっていました。中学1年生で人気だった理由は、「まだ覚える範囲が少なく、簡単にテストで高得点がとれるから」でした。新しく出会う教科に心ときめきながら、実際に英単語や英文法を覚える段階になると人気は落ちる、それが小学校から始まってしまわないかと心配されていました。

「English Room」で学ぶ子供の顔を見ていると、その心配が杞憂だったことが分かります。私は、初めての海外旅行で入った店で、何度注文しても「アイスコーヒー」が出てこなかった経験があります。きっと増戸小を卒業した子供たちは、おいしい「cold brew coffee」が飲めることでしょう。結局、アイスコーヒーが飲めなかった私にとっては、飲めなかったのに苦い思い出です。